

(国研)産業技術総合研究所 人工知能技術コンソーシアムについて

(1) 目的と組織

人工知能技術コンソーシアム(以下「AITeC」)は、企業・大学・研究機関の技術交流の場を提供することにより、人工知能技術に関連する情報の共通認識形成を図り、人工知能技術全般の一層の技術向上及び普及を促進することを目的に、平成 27 年、国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター(以下「産総研」)に設置されました。

(2) 活動内容

データ活用の手法・技術の勉強会の開催や、産総研技術の動向等最新情報の獲得の促進に加え、データ活用による共創的価値創出を加速させて成功事例を創発、インキュベートするための会員の課題・強み・知見等の共有から、ベストマッチングの模索を踏まえ、事業化の構想・実証に至るまで、知見の社会実装に向けた取組を重ねています。

(3) 会員

AITeC は、産総研人工知能研究センター首席研究員本村陽一を会長とし、企業等の法人会員、個人会員及び公益性の高い団体等(大学、学会、国家公務員等)の特別会員で構成されています(別紙会員一覧参照)。

(4) 活動の場・チャンネル

主な活動は相互に連携するワーキンググループ(以下「WG」)単位で産総研コンソーシアムの活動として参加企業の協働により行っています。その成果は産総研人工知能技術コンソーシアム名義のシンポジウムやオンラインイベント等を通じて外部に発信しています。会員は、地域やテーマに応じて約 20 ある WG に所属(複数可)して活動しますが、WG 活動の成果を事業化する際は、関係者が守秘義務契約等を締結して個々に進めていきます。なお、これらは産総研コンソーシアムの活動として、国内に留まらず、OECD も STIP COMPASS において日本における共創的なデジタル変革のケーススタディとして取り上げる等、国際的な認知も進みつつあります。

(5) 会計

活動費用は、会員(特別会員を除く)からの会費(10万円/人・回/年度)によって賄われ、その全額(令和3年度は約1,700万円を予定)が、各WGの執行計画に基づいて配分されます。予算、決算は運営委員会(次項参照)により管理、運用されています。

(6) 運営

活動方針の決定、会計、WGの設置・改廃、広報・シンポジウムの実施等の運営は、産総研が定める規程に基づいて定められた会則(別紙人工知能技術コンソーシアム運営会則参照)に則り、運営委員会によって行われます。運営委員会の委員は、会長、会長が会員から指名する副会長、及び会員から選出される委員によって構成されます。また運営は事務局が支援します。

AITeC への加入によって、会員は以下のメリットを享受することができます。

- ・最新の知見の獲得
- ・主体的な活動を内外に発信するチャンネルの獲得
- ・活動成果の事業化機会の獲得
- ・内外のネットワーク資産の形成と循環的拡大 等